

# 一般質問

## 市政のついでを問う

この定例会では6月11日～13日の3日間で、20人が登壇し、42項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問項目（発言順）

※：掲載した項目

- 谷口 睦生 議員
  - ※1 物価高騰対策について
  - ※2 防災対策について
- 新海 真規 議員
  - ※1 障がい者施策について
  - ※2 池田町の工場跡地の再開発について
- 近藤 澄男 議員
  - ※1 小堤西池のカキツバタ群落の保護活動について
  - ※2 有機農業実証実験について
- 大山 実 議員
  - ※1 公園の民間利用について
  - ※2 上下水道事業の経営の在り方について
- 蜂須賀 信明 議員
  - ※1 刈谷市立刈谷特別支援学校の体制について
  - ※2 刈谷市のインクルーシブ教育について
  - ※3 刈谷市教育委員会としてのオルタナティブ教育の導入について
- 鈴木 絹男 議員
  - ※1 人と環境の美しさが響き合う街づくりについて
  - ※2 シモ子 議員
- 山本 シモ子 議員
  - ※1 教育行政方針について
  - ※2 安心の住宅を供給する市の責任と役割について
  - ※3 市内福祉巡回バスの無料継続について
  - ※4 平和と暮らし応援の充実について
- 武藤 美智代 議員
  - ※1 亀城公園整備事業について
  - ※2 刈谷市における介護予防事業について
  - ※3 高齢者の肺炎予防について
  - ※4 指定管理者制度について
- 加藤 幹樹 議員
  - ※1 地方創生について
  - ※2 刈谷駅・刈谷駅周辺開発について
  - ※3 指定管理者制度について
- 中嶋 祥元 議員
  - ※1 子どものスマホ利用における安全対策について
  - ※2 物価高騰の生活支援と地域経済活性化の両立について
- 三田 真弥 議員
  - ※1 自治会等への活動支援事業について
- 上田 昌哉 議員
  - ※1 トランプ関税と刈谷市の財政について
  - ※2 公共工事のコストについて
  - ※3 特別支援学級について
  - ※4 企業の連携について
- 深谷 英貴 議員
  - ※1 産業の持続的成長について
- 葛原 祐季 議員
  - ※1 小学校修学旅行の在り方の見直しについて
  - ※2 刈谷市産業イノベーション構想について
- 森島 公祐 議員
  - ※1 学校給食について
- 加藤 廣行 議員
  - ※1 保育の受入れ体制について
  - ※2 アジア・アジアパラ競技大会について
- 城内 志津 議員
  - ※1 子どもの権利が尊重されるまちづくりについて
  - ※2 誰もが利用できるかりまるバスについて
- 星野 雅春 議員
  - ※1 子ども・子育て支援金制度について
  - ※2 国民健康保険等について
  - ※3 ハラスメントについて
- 稲垣 雅弘 議員
  - ※1 アーバンデザイン（都市景観と緑化）について
- 伊藤 愛恵 議員
  - ※1 プレコンセプションケアについて

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



谷口 睦生 議員

**高齢者等の要配慮者や在宅避難者などの支援に福祉サービスの提供を!!**

**問** 6月に改正された災害対策基本法等の内容がどうか。  
**答** 能登半島地震の教訓を反映している。被災地で活動するNPOやボランティア団体等に国に対し事前に登録しておくことで、被災自治体と連携しながら迅速な被災者支援を目指す。被災者支援協力団体の登録制度が創設された。また、高齢者等の要配慮者や、在宅や車中泊の避難者等の多様な支援ニーズに対応するため、災害救助法の救助の種類に福祉サービスの提供が追加された。そのほか、防災DXの推進として災害情報の収集や伝達にデジタル技術の活用を努力義務とすることや避難環境の充実を図るため、市町村が物資の備蓄状況を年1回公表することが義務化された。  
**問** 避難者支援の福祉サービスの提供について現在の市の取組の状況はどうか。  
**答** 視覚障害者誘導用プロロックの設置の考え方と直近5年間の設置状況はどうか。  
**答** 視覚障害者誘導用プロロックについては、主に歩行者が多い道路、鉄道駅や公共施設などの利用者が多い施設を結ぶ道路に必要に応じて設置している。過去5年間は、都市計画道路刈谷環状線のうち図書館前大手町交差点から住吉町交差点までの延長約480メートル、市道2-496号線で延長約450メートル共に両側歩道に設置している。  
**問** 音響式信号機、歩車分離式信号機及びエスコートゾーンの設置箇所はどうか。  
**答** 音響式信号機は、令和2年が28箇所、7年が30箇所、歩車分離式信号機は、令和2年が10箇所、7年は18箇所であり、エスコートゾーンは、令和7年までの数値で11箇所である。  
**問** 歩車分離式信号機のある市原神社東の交差点で音響式信号機が設置されていない理由はどうか。  
**答** 歩車分離式信号機と音響式信号機は設置目的が異なるため、必ずしも併用されるものではない。  
**問** 音響式信号機は音に頼らない。音響式信号機は音に頼る周辺住民への影響も懸念される。周辺住民への影響も懸念される。周辺住民への影響も懸念される。周辺住民への影響も懸念される。



大規模災害に備えた支援体制の強化を図る



新海 真規 議員

**視覚障害者が安全に交差点を横断できるエスコートゾーンの設置拡充を!!**

**問** 視覚障害者誘導用プロロックの設置の考え方と直近5年間の設置状況はどうか。  
**答** 視覚障害者誘導用プロロックについては、主に歩行者が多い道路、鉄道駅や公共施設などの利用者が多い施設を結ぶ道路に必要に応じて設置している。過去5年間は、都市計画道路刈谷環状線のうち図書館前大手町交差点から住吉町交差点までの延長約480メートル、市道2-496号線で延長約450メートル共に両側歩道に設置している。  
**問** 音響式信号機、歩車分離式信号機及びエスコートゾーンの設置箇所はどうか。  
**答** 音響式信号機は、令和2年が28箇所、7年が30箇所、歩車分離式信号機は、令和2年が10箇所、7年は18箇所であり、エスコートゾーンは、令和7年までの数値で11箇所である。  
**問** 歩車分離式信号機のある市原神社東の交差点で音響式信号機が設置されていない理由はどうか。  
**答** 歩車分離式信号機と音響式信号機は設置目的が異なるため、必ずしも併用されるものではない。



近藤 澄男 議員

**有機農業の実証実験を継続し、収穫したお米を学校給食に提供を!!**

**問** 本市が取り組んでいる実証実験の作付面積と令和6年度の収穫量はどうか。  
**答** 実証実験は昨年度から3年間として取り組んでおり、作付面積は約3500平方メートル、10アル当たりの収穫量は約8・4俵である。  
**問** 収穫したお米はどのように活用したか。  
**答** JA主催の農業まつりで、米にちなむアンケートの協力者に配布したり、保育園の給食で保護者や園児に有機農業実証実験で取れた米と説明して提供した。また、市役所で開催したマルシェで販売し、PRした。  
**問** 課題はどうか。  
**答** 栽培過程で化学肥料や農薬を使用しないため雑草が繁茂しやすく、除草作業に時間がかかることやカメムシ等の害虫による品質低下がある。また、農薬等の影響を遮断する土地を選



実証実験を継続し、収穫したお米のPRや給食での提供を



大山 実 議員

**公園を民間団体にも使いやすくし、さらなるにぎわいの創出を!!**

**問** どのような公園で、イベントの開催を認めているのか。  
**答** 指定管理者が行う自主事業のほかマルシェのようなイベントを開催できるのは、洲原公園、亀城公園、大手公園と総合運動公園の北側にある逢妻川緑地・桜づつみの4か所で、十分な面積があり、駐車場台数が100台以上確保できることなどを考慮して決めている。  
**問** イベントを開催するための手続や条件はどうか。  
**答** 開催日の2か月前までに申請書類の提出を受け、内容を審査し、適切と認められた場合に許可する。また、主催者がおむね5店舗以上募って開催することや、イベントの情報発信、清掃等を条件としている。  
**問** 民間がイベントを行う場合、使用料は発生するのか。  
**答** 刈谷市都市公園条例に基づき、1店舗1日につき1010円の使用料、仮設ステージ等は、1平方メートル1日につき

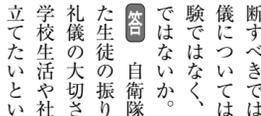


蜂須賀 信明 議員

**障害のある子供と、ない子供が共に受けるインクルーシブ教育の推進を!!**

**問** 障害の有無や背景にかかわらず、全ての子供が同じ教室で学ぶことを目指すインクルーシブ教育は、2011年に障害者基本法の一部改正が行われて以降、理解が広がっていったと理解している。教育委員会におけるインクルーシブ教育の基本理念はどのようなものか。  
**答** 障害の有無にかかわらず、子供が能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加することができるよう、教育の充実を図ることを基本としている。  
**問** 小中学校の特別支援学級の授業内容はどのように実践されているか。  
**答** 障害の有無にかかわらず、周囲の仲間と当たり前のように関わる機会を設定していくことで、子供の多様性を理解し、支え合う心が育まれると考えている。今後もこのような機会の積

らしたチャラシやSNS、地元回覧による周知等を行っている。また、イベントが開催される公園、日時や内容を市ホームページに掲載している。



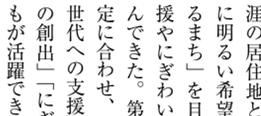
山本 シモ子 議員

**自衛隊への職場体験学習の見直しを!!**

**問** 自衛隊への職場体験学習はいつから開始されたのか。  
**答** 自衛隊での職場体験学習については、確認できるのは、平成17年度からである。  
**問** 社会の一環を学ぶとする職場体験学習先に自衛隊を選択する際に教師たちは異議を持たないのか。望ましくないか。判断すべきではないか。挨拶や礼儀については、自衛隊の職場体験ではなく、学校で教えるべきではないか。  
**答** 自衛隊での職場体験をした生徒の振り返りには、挨拶と礼儀の大切さに気づき、今後の学校生活や社会に出たときに役にたいという思いを高めたことが分かる記述があった。また、隊員が装備するバッグを背負う



自衛隊での職場体験学習の見直しを



加藤 幹樹 議員

**地方創生の様々な事業を通じて、さらなる市の発展につなげる!!**

**問** 国の地方創生の取組が始まって10年が経過した。これまでの本市の地方創生に対する歩みはどうか。  
**答** 平成28年3月に「刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指して、子育て支援やにぎわい創出などに取り組んできた。第8次総合計画の策定に合わせて、「若い世代や子育て世代への支援」「魅力ある働く場の創出」「にぎわいの創出」「誰もが活躍できる社会の形成」「安全に暮らし続けられる環境の整備」の5つの重点戦略を総合戦

品を設置しているが、小学校に關しては、個室に置いてあるところは少なく、ほとんどが手洗いな積み方を考えているのか。  
**答** 現存している城絵図や専門家の意見などから江戸時代初期に整備された可能性が高く、同じ石材を使用する名古屋城を参考に、「打込みはぎ」とする。  
**問** 同じ公園内であれば熊本城の石垣復旧事業と同様の構造を検討すべきである。刈谷城の石垣の整備水準はどうか。  
**答** 大きな地震が発生しても崩落しないよう現代的な特殊工法を取り入れることを検討する。  
**問** 昔は亀城公園の西側が海と接していたと聞いている。これによって地盤に影響を受けるかと思うが、液状化の対策はどうか。  
**答** 過去の調査や研究を進めるほか、教育委員会は、市内の小中学生等に向けた刈谷城の現地見学会を開催し、歴史を学ぶことから石垣状況を見てもらうことで郷土への愛着や誇りを培ってもらえる機会の創出を検討する。